

紹介状なし病院受診に初診料4千円値上げは反対です！

知っ得(-)-☆情報

高校生等奨学給付金制度 が拡充されます

新型コロナウイルス感染症の影響で家計が激減（住民税所得割非課税世帯相当見込）した世帯を新たな対象として随時申請を受け付けます。年36,500円～29,700円。返済不要。

オンライン学習に係る通信費の支給

月1000円×10か月 今年度限り
住民税所得割非課税の世帯に給付します。新しい制度のため申請が必要です。奨学給付金をすでに手続きしている場合も通信費のみの申請を重ねてください。

オンライン授業が休止している場合でも、生徒がインターネット通信を使うことができる通信契約、タブレット、スマートフォン等への特例的支援です。

*住民税所得割非課税基準

(例) 4人家族 271万1600円未満など
詳細は県教育委員会HP参照。

2020年度 山本りか県議の所属

- 教育警察常任委員会
- 差別解消を目指す
条例検討調査特別委員会
- 三重県産材利用促進に関する
条例検討会
- スマート議会勉強会



正副議長と少数党派との懇談 (6/26)



手洗いを心掛け、マスクはこにゅうどうくんんで四日市をPR



山本りか議員の毎日は
FBでご覧ください

<https://www.facebook.com/rika.yamamoto.3382>



県議団 ホームページ
議会活動はこちら

<http://kengidan.jcp-mie.jp/>



6月30日 反対討論 要旨
紹介状なしの受診の場合、初診料が下表のように中堅病院でも値上げされ、志摩病院が対象となります。共産党は反対しましたが賛成で可決しました。

現在紹介状での受診が、皮膚科で5%、眼科・耳鼻科・小児科で10%台しかない実態から見て、値上げは患者負担・受診抑制を強いる。また、患者が減ることによる病院減収もあり得ます。

病院への受診が集中することで、過重負担を回避し、地域の「かかりつけ医」制度の推進は重要だが、患者負担を増やすやり方は問題。これら安倍政権による一連の診療報酬改正は、患者や病院に不利益となり、受診権を奪いつつになります。

*救急搬送され入院した場合などは加算されません

山本りか県議は、6月定期月議会に上程された20議案のうち新型コロナウイルス対策関連の補正予算を含む19議案に賛成し、「県立志摩病院の初診料値上げの条例改正案」1議案に反対しました。

県立志摩病院 200~400床の病院 紹介状なしの場合	
初診加算料	1,100円 → 5,500円
再診加算料	なし → 2,750円
2020年10月1日より	

新型コロナインフルエンザ感染対策、経済対策 補正予算 三重県主要農作物種子条例 制定

北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める決議 山本りか県議も賛成しました 全員一致で可決成立

●2018年廃止された国の「主要農作物種子法」の代わりとなる県条例策定を、他会派のみなさんや要求のあるみなさんと共同して「県の責務を明確に」と要求してきました。山本りか県議は今議会で議案質疑をし「県が責任をもって指導対応する」ことを確認。

9月1日施行までに「要領」や「基準」を定めませんが、細かな問題が依然として残るので注視していきます。「種」いのち・健康の源、安全でよいモノを安く農家に提供することは、食する消費者みんなにとっての問題です。国や県がしっかり役割を果たさなければなりません。

●新型コロナ感染対策・経済対策のための補正予算は、3~6月末までに7回提出され、総額は461億6千万円。通年議会のためその都度審査。6月議会最終議決分は255億円。医療関係の支出が約8割。

- ・感染者と接する医療福祉職員らへの慰労金
 - ・PCRセンター開設、病院空床確保支援
 - ・休業時短要請に伴う協力金追加分
 - ・県立学校や小中学校の感染防止対策
 - ・県内バス事業者・旅行者への支援 など
- 急ぎ手立てしなければならぬため疑問点を指摘しながら「実態を踏まえること、周知と実効性を十分に」と求め賛成。運用面での問題点は多く、改善要求は今も続く。

「桑名市員弁川河川敷源十郎新田においてPCBを含む油が流出」した件で、三重県はその除去に85億5000万円費やした。油の投棄原因者をコスモ石油株式会社と推認（PCBについては推認とはしていない）、四日市簡裁で民事調停に入った。

4年を費やした後、原因企業と確定できず、同社が6億円を支払う形で調停案を受け入れることとなった。確定はできないが、なにがしかの関わりがあるというところで6億円という合意となったのか。同社が、

6億円 VS 85億5000万円 源十郎新田油流出 一般質問 その後

昭和48年から平成5年までの間に油を含む汚泥の焼却残渣の処理場として使っていたという事実をどう扱ったのか。民事調停の内容は非公表とされており闇の中だ。

山本りか県議は、2016年9月、本会議議案質疑で「油の投棄がPCBの溶出を拡散しているという事実もしっかりと踏まえ、裁判も辞さないという思いで調停で歩み寄り過ぎないように」と求めていました。産業廃棄物不法投棄処理に費やす税金は大きい。

~子ども笑顔を取り戻すため、三密解消のため、子どもたちに少人数学級をプレゼントしよう~